



就学前児童用



坂井市

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査(案)

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

坂井市では、平成26年度に「坂井市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、坂井市の次の世代を担う子どもたちが笑顔で健やかに成長し、家

庭も、地域も笑顔にあふれるようなまちづくりを目指して、様々な子育て支援に関する取り組みを進めております。

この度、次期計画となる「第2期坂井市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、子育て中の皆様に対して、ニーズ調査を実施させていただきます。

この調査は無記名で行い、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはございません。ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成31年2月

坂井市長 坂本憲男

坂井市の子育て支援の充実のため、あなたの声をお聞かせください！



子育て家庭（皆様）

調査票を送付

ニーズ調査に回答



坂井市

子ども・子育て会議

ニーズ調査も含め、様々なデータを
確認・協議

皆様からいただいた回答を坂井市の子育て支援の充実に活かします！

【ご記入に当たってのお願い】

1. ニーズ調査は、お子さんの保護者の方がご記入ください。特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、()内に数字などをご記入いただく場合がございます。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございます。ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

ご記入がすみましたら、同封の返信用封筒に入れて
切手を貼らずに○月○日（○）までにご投函ください。

【お問い合わせ先】 坂井市 子育て支援課

■電話：0776-50-3042 ■FAX：0776-68-0324



～用語の定義～

この調査票における用語の定義は以下のとおりです

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して幼児教育を行う施設（学校教育法第22条）
（公立幼保園の幼稚園部を含む）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
（公立幼保園の保育部を含む）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問14-2までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の幼稚園・保育所における教育の意味で用いています

お住まいの地域・ご家族の状況等についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどちらですか。（ひとつに○）

1. 三国町 2. 丸岡町 3. 春江町 4. 坂井町

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。（（ ）内に数字で記入）

平成（ ）年（ ）月生まれ

問3 あなたにお子さんは何人いらっしゃいますか。（ひとつに○）

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

問3で「2」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問3-1 末のお子さんの生年月月をご記入ください。（（ ）内に数字で記入）

平成（ ）年（ ）月生まれ

※ここから先、すべての質問の「お子さん」とは、宛名のお子さんのことです。

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（ひとつに○）

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（ひとつに○）

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（ひとつに○）

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他（ ）

問7 お子さんの世帯における同居・近居（同一校区内に居住）の状況についてうかがいます。お子さんからみた関係でお答えください。（ひとつに○）

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 親と同居 | 2. 親・祖父母と同居 |
| 3. 親と同居し、祖父母と近居 | 4. その他（ ） |

★ **子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。** ★

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるすべてに○）

- | | | |
|-----------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 |
| 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. その他（ ） | | |

問9 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも大きく影響すると思われる環境はどれですか。（あてはまるすべてに○）

- | | | | |
|--------|-----------|--------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 幼保園 | 6. その他（ ） | | |

問10 日頃、宛名のお子さんの祖父母等から受けている子育ての支援は何ですか。（あてはまるすべてに○）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの相手・預かり（日常的に） | 2. 子どもの相手・預かり（急用等のとき） |
| 3. 子どもの送り迎え | 4. 教育やしつけの支援 |
| 5. 家事の手伝い | 6. 金銭的な援助 |
| 7. 物資での支援 | 8. その他 |
| 9. ほとんどない | （ ） |

問11 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問11-1へ | 2. いない／ない ⇒ 問12へ |
|-------------------|------------------|

問11で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるすべてに○）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育園や幼保園、幼稚園の先生 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 |
| 9. 坂井市の子育て関連担当窓口 | 10. その他（ ） |

問 12 子育てに不安や悩みはありますか。(ひとつに○)

1. ある	2. 多少ある	3. ない
-------	---------	-------

問 12 で「1. ある」または「2. 多少ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-1 どのようなことで不安や悩みをお持ちですか。(あてはまるすべてに○)

<ol style="list-style-type: none">1. 病気や発育・発達に関すること2. 食事や栄養に関すること3. 育児の方法がよくわからないこと4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと5. 子どもとの時間を十分にとれないこと6. 話し相手や相談相手がいないこと7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと8. 子どもの教育に関すること9. 子どもの友だちつきあい(いじめなどを含む)に関すること10. 登園拒否・不登校などの問題について11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場等まわりの見目が気になること14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと15. 子どもを叱りすぎているような気がする16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと18. その他()19. 特にない

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

～記入していただきたいこと～

- ◇ (1) 母親、(2) 父親の両方にご回答ください。(父子家庭、母子家庭の場合はいずれかで構いません)
- ◇ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
- ◇ () 内には数字をご記入ください。時間は、必ず24時間制でお答えください。
(例) 8時～18時

問 13 あて名のお子さんの父親・母親の就労状況について、①現在の状況と②1年以内の希望をお答えください。

項目		1. フルタイム 【週5日・1日8時間程度】	2. パートタイム 【「フルタイム」以外の就労】	3. 就労 していない
(1) 母親	①現在の状況 (ひとつに○)	1	2	3
	②1年以内の希望 (ひとつに○)	1	2	3
(2) 父親	①現在の状況 (ひとつに○)	1	2	3
	②1年以内の希望 (ひとつに○)	1	2	3

問 13①現在の状況で「1. フルタイム」または「2. パートタイム」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 ①1日の就労時間～④帰宅時刻についてお答えください。

項目	(1) 母親 (数字で記入)	(2) 父親 (数字で記入)
①1日の就労時間	1日 () 時間	1日 () 時間
②1週当たりの就労日数	週 () 日	週 () 日
③家を出る時刻	() 時 () 分	() 時 () 分
④帰宅時刻	() 時 () 分	() 時 () 分

問 13②1年以内の希望で「2. パートタイム」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-2 希望する就労時間についてお答えください。

項目	(1) 母親 (数字で記入)	(2) 父親 (数字で記入)
①1日の就労時間	1日 () 時間	1日 () 時間
②1週当たりの就労日数	週 () 日	週 () 日

問 13③1年以内の希望で「3. 就労していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-3 1年後以降の希望についてお答えください。

※就労時間等が不規則の場合は、もっとも多い就労パターンについてお答えください。

※「2」に○を付けた方は、()内に数字をご記入ください。

(1) 母親 (ひとつに○)	(2) 父親 (ひとつに○)
1. 子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳 になったころに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳 になったころに就労したい

**お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の
利用状況についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 14-1 に示した事業が含まれます。

問 14 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(ひとつに○)

1. 利用している ⇒ 問 14-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 14-9 へ

問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるすべてに○)

<p>1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)</p> <p>3. 認可保育所 (国が定める基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)</p> <p>5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6~19 人のもの)</p> <p>7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)</p> <p>9. 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)</p>	<p>2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)</p> <p>4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設)</p> <p>6. 家庭的保育 (保育士などの保育者の家庭等で子どもを保育する事業)</p> <p>8. その他の認可外の保育施設</p> <p>10. その他()</p>
--	--

問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

問 14-1 で選択した事業の内、主に利用しているものについてお答えください。

※時間は、必ず 24 時間制でご記入ください。(例) 8 時~18 時

主な利用事業の番号 (ひとつ記入)		()
項目	(1) 現在の利用状況	(2) 希望
① 週の就労日数	週 () 日	週 () 日
② 1 日の利用時間	1 日 () 時間 () 分	1 日 () 時間 () 分
③ 利用開始・終了時刻	() 時 () 分 ~ () 時 () 分まで	() 時 () 分 ~ () 時 () 分まで

問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(ひとつに○)

1. 坂井市内	2. 坂井市外
---------	---------

問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
(あてはまるすべてに○)

1. 現在就労している	2. 就労予定がある、または求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない	4. 病気や障がいがある
5. 学生である	6. 子どもの教育のため
7. その他()	

問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-5 現在利用されている教育・保育の事業に対してどのように感じていますか。
(①～⑬それぞれについて、ひとつに○)

項目	大変満足	やや満足	普通	やや不満	大変不満
①施設・環境（園舎・園庭・玩具など）	1	2	3	4	5
②職員等の配置状況（人員体制）	1	2	3	4	5
③子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）	1	2	3	4	5
④行事（保育参観・運動会など）	1	2	3	4	5
⑤食事	1	2	3	4	5
⑥病気やケガの時の対応	1	2	3	4	5
⑦保護者への情報伝達	1	2	3	4	5
⑧悩みごとなどへの相談対応	1	2	3	4	5
⑨保護者の要望・意見への対応	1	2	3	4	5
⑩利用者間のネットワークづくり	1	2	3	4	5
⑪安全対策	1	2	3	4	5
⑫衛生対策	1	2	3	4	5
⑬全体的な印象	1	2	3	4	5

問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-6 お子さんが病気やけがで幼稚園や保育園等を休んだときの対処方法はどのようなものですか。(あてはまるすべてに○、() 内に数字で日数を記入)
 ※半日程度の対応の場合も1日として数えてください。

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	年()日
2. 母親が休んだ	年()日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	年()日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年()日
5. ベビーシッターを利用した	年()日
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年()日
7. その他()	年()日
8. 病児・病後児の保育施設を利用した	年()日
9. 病気やけがで幼稚園や保育園などを休んだことはなかった	—

⇒ 問 14-7 へ

問 14-6 で「1」～「7」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-7 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。(ひとつに○)
 ※利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。
 ※「1」に○をつけた方は、() 内に数字をご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒年()日
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 14-8 へ

問 14-7 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-8 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 2. 事業の質に不安がある 3. 事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない 4. 利用料がかかる・高い 5. 利用料がわからない 6. 親が仕事を休んで対応できる 7. その他()
--

問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-9 利用していない理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

※「8」に○をつけた方は、() 内に数字をご記入ください。

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため() 歳くらいになったら利用しようと考えている 9. その他()
--

国では、2019年10月から、教育、保育の利用料が無償化されることが検討されています。

【幼児教育無償化の内容】（2018年10月9日 内閣府 子ども・子育て会議資料より）

この内容は確定したものではありません。

- 3～5歳児の幼稚園、認可保育所等、認定こども園、企業主導型保育事業、障がい児通園施設の利用は全世帯無償化
- 0～2歳児の幼稚園、認可保育所等、認定こども園、企業主導型保育事業の利用は住民税非課税世帯が無償化（0～2歳児の障がい児通園施設の利用は、住民税非課税世帯は既は無償化）
- ファミリー・サポート・センターや認可外保育所では、0～2歳児の住民税非課税世帯は42,000円/月まで、3～5歳児は37,000円/月まで無償化

⇒上記を踏まえ、問15にお答えください。

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、幼児教育の無償化が0～2歳児の全世帯に拡大された場合、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業は何ですか。（あてはまるすべてに○）

1. 幼稚園 （通常の就園時間の利用）	2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所 （国が定める基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	4. 認定こども園 （幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設）
5. 小規模な保育施設 （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	6. 家庭的保育室 （保育士などの保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設 （企業が主に従業員用に運営する施設）	8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育 （保育者が子どもの家庭で保育する事業）	10. ファミリー・サポート・センター （地域の会員相互の助け合いサービス）
11. その他（	）

問15でいずれかの事業に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。（ひとつに○）

1. 坂井市内	2. 坂井市外
---------	---------

問15で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にうかがいます。

問15-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（ひとつに○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

★お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況等についてうかがいます。★

坂井市では、次の施設で、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を実施しています。

- ◎公立：三国子育て支援センター（三国運動公園健康管理センター内）
 - ：丸岡子育て支援センター（いきいきプラザ霞の郷内）
 - ：坂井子育て支援センター（坂井こども園内）
- ◎民間：ハーツきっずはるえ（県民生協ハーツ春江店併設）
 - ：もみじアソビーノサロン（もみじ保育園内）
 - ：キッズハウスゆり（子育て支援センターゆり内）

問 16 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（あてはまるすべてに○）

※「1」「2」に○をつけた方は、（ ）内におおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場） 1週当たり（ ）回 または 1ヶ月当たり（ ）回
2. その他坂井市で実施している類似の事業（具体名： ） 1週当たり（ ）回 または 1ヶ月当たり（ ）回
3. 利用していない

問 17 地域子育て支援拠点事業について、今後の利用意向はありますか。（ひとつに○）

※「1」「2」に○をつけた方は、（ ）内におおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい 1週当たり（ ）回 または 1ヶ月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1週当たり さらに（ ）回 または 1ヶ月当たり さらに（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 18 ①～⑨のサービスについてお答えください。（A～Cそれぞれひとつに○）

項目	(1) 知っている		(2) 利用したことがある		(3) 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①母親学級、両親学級、育児学級	1	2	1	2	1	2
②保健センターの情報・健診時の育児相談	1	2	1	2	1	2
③家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2
④教育相談センター・教育相談室	1	2	1	2	1	2
⑤幼稚園や保育所の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
⑥児童館	1	2	1	2	1	2
⑦乳児訪問事業	1	2	1	2	1	2
⑧こども家庭相談・利用者支援事業	1	2	1	2	1	2
⑨幼稚園・保育所・幼保園等での教育・育児相談	1	2	1	2	1	2

**お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 21 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるすべてに○、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字で記入)

利用している事業	日数 (年間)
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	() 日
3. 夜間養護等事業: トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保育する事業)	() 日
4. ベビーシッター	() 日
5. その他()	() 日
6. 利用していない	() 日

⇒ 問 22 へ

⇒ 問 21-1 へ

問 21 で「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()

問 22 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(利用希望の有無について、あてはまる番号・記号すべてに○、必要な日数を記入)

※事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい

≪目的別≫

①私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的 () 日

②冠婚葬祭、子どもの親の通院 () 日

③不定期の就労 () 日

④その他() () 日
2. 利用する必要はない

問 23 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで預けなければならないことはありましたか。(ひとつに○)

1. あった(預け先がみつからなかった場合を含む) ⇒ 問 23-1 へ
2. なかった ⇒ 問 24 へ

問 23 で「1. あった（預け先がみつからなかった場合を含む）」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。（あてはまるすべてに○、
（ ）内に数字で日数を記入）

1. （同居者を含む）親族・知人に預けた	（ ）	泊
2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）	泊
3. 認可外保育施設やベビーシッター等の保育事業を利用した	（ ）	泊
4. 仕方なく子どもも同行させた	（ ）	泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）	泊
6. その他（ ）	（ ）	泊

小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 24 お子さんについて、小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（1）小学校低学年、（2）小学校高学年それぞれの希望をご記入ください。放課後児童クラブ等の事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。（あてはまるすべてに○、希望する週あたり日数を数字で記入）

(1) 小学校低学年 (1～3年生)の間	1. 自宅	週（ ）日くらい	⇒ 問 24-1へ
	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい	
	3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	
	4. スポーツ少年団	週（ ）日くらい	
	5. 児童館 ※1	週（ ）日くらい	
	6. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらい	
	7. 放課後児童クラブ（学童保育）※3	週（ ）日くらい *利用を希望する時間（24時間制）も記入 →下校時から（ ）時まで	
	8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい	
	9. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい	
(2) 小学校高学年 (4～6年生)の間	1. 自宅	週（ ）日くらい	⇒ 問 24-1へ
	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい	
	3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	
	4. スポーツ少年団	週（ ）日くらい	
	5. 児童館 ※1	週（ ）日くらい	
	6. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらい	
	7. 放課後児童クラブ（学童保育）※3	週（ ）日くらい *利用を希望する時間（24時間制）も記入 →下校時から（ ）時まで	
	8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい	
	9. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい	

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「7」に回答
 ※2 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末・長期休業中に公民館等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
 ※3 放課後児童クラブ…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

問 27 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 (母親、父親それぞれひとつに○、取得していない方はその理由を記入)

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった ⇒ 問 28 へ	1. 働いていなかった ⇒ 問 28 へ
2. 取得した (取得中である) ⇒ 問 27-1 へ	2. 取得した (取得中である) ⇒ 問 27-1 へ
3. 取得していない ⇒ 理由を選択し、問 28 へ	3. 取得していない ⇒ 理由を選択し、問 28 へ

⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (複数可)

母親	父親	
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3	3	(産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しそうだった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育所などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14	14	産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した
15	15	その他 ()

問 27 で「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 27-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(母親、父親それぞれひとつの数字を記入)

(1) 母親	<input type="text"/>	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 27-2 ~ 7 へ
(2) 父親	<input type="text"/>	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 27-8 へ
		3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 28 へ

問 27-1 で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問 27-2 育児休業から職場に復帰したタイミングはいつでしたか。(母親、父親それぞれひとつの数字を記入)

- 〈例〉
- ・年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月~2月頃復帰して一時的に保育施設に入所した → 「1」
 - ・年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかった → 「1」

(1) 母親	<input type="text"/>	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
(2) 父親	<input type="text"/>		

問 27-3 問 27-1 で「1」と回答した方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(母親、父親それぞれ () 内に数字で記入)

(1) 母親	実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望の取得期間 () 歳 () ヶ月
--------	----------------------	----------------------

(2) 父親	実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望の取得期間 () 歳 () ヶ月
--------	----------------------	----------------------

問27-4 問27-1で「1」と回答した方にうかがいます。お勤め先に、子どもが満3歳まで取得できる育児休業制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(母親、父親それぞれ()内に数字で記入)

(1) 母親 ()歳()ヶ月 (2) 父親 ()歳()ヶ月

問27-5 問27-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

A. 「希望」より早く復帰した方 (母親、父親それぞれ、あてはまるすべての数字を記入)

(1) 母親
(2) 父親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他()

B. 「希望」より遅く復帰した方 (母親、父親それぞれ、あてはまるすべての数字を記入)

(1) 母親
(2) 父親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他()

問27-6 問27-1で「1」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(母親、父親それぞれ、ひとつの数字を記入)

(1) 母親
(2) 父親

1. 短時間勤務制度を利用した ⇒ 問30へ
2. 短時間勤務制度を利用しなかった ⇒ 問29-7へ

問27-7 問27-6で「2」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(母親、父親それぞれ、あてはまるすべての数字を記入)

(1) 母親
(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

問 27-8 問 27-1 で「2」と回答した方にうかがいます。

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所などのような事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(母親、父親それぞれ、ひとつ数字を記入)

- (1) 母親
(2) 父親

- | |
|----------------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい |
| 2. 1歳になる前に復帰したい |

坂井市での子育てや子育て支援策 についてうかがいます。

問 28 将来、お子さんにどのような人に育ててほしいと思いますか。(〇は3つまで)

- | |
|--|
| 1. ふるさとや日本の自然、文化、伝統を愛し、大切にする人
2. 逆境に負けない忍耐力と自立心を身につけた人
3. 公共心や社会常識、マナーを身につけた人
4. 専門的な知識や技能を身につけた人
5. 人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人
6. 自分の意見を持ち、リーダーシップや行動力がある人
7. その他() |
|--|

問 29 あなたは、これからもお子さんに坂井市で育ててほしいと思いますか。
(ひとつに〇、また、その理由も記入)

- | | | |
|--|---|-----------------------|
| 1. そう思う
2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそう思わない
4. そう思わない
5. わからない | } | その理由を記入してください。
() |
|--|---|-----------------------|

問 30 現在、新たにご出産を予定されていますか。(ひとつに〇、「1」を選んだ方は、保育所等の利用希望時期を記入)

- | | | |
|---|---|-----------------|
| 1. はい → お子さんが生まれてから保育所や幼稚園を利用する際、お子さんが何歳のときから利用を始めたいと思いますか。①～③のうちひとつ選んで、()内には数字でご記入ください。 | | |
| ①保育所
②幼稚園
③保育所や幼稚園の利用は希望しない | } | (歳 か月 から利用したい) |
| 2. いいえ | | |

